

あくあ
まうた小遣い
減らされたわ
バイトすつかな

良いよな
お前んちには
無縁な話でさ

.....

何も知らないで...

何代続いているかも
わからない
エリート家系

誰もが羨む
血筋だろう

そんな恵まれた
家系に生まれた
俺が今思う事...
それは

普通の家に
生まれたかった...

優秀でいる事を
義務付けられ

誰かと
比べられる日々

劣っていると
確信された瞬間

家族に
蔑まれる

親父は
出来の悪い俺を見限り
今では
俺に見向きもしない

そんな父親が

あ
おかえりなさい
アキヒトさん

そんな親父が
再婚した

お弁当
どうでした？
お口に合ったかしら？

は…はい…

まっそれは
よかったわ

ミサコさん

座って
今お茶入れるわね♪

はい…

親父の再婚相手で
美人で
スタイル抜群

家族で唯一
俺にも分け隔てなく
接してくれる

学校から帰宅して
彼女と他愛のない
話をする

この時間が
俺の唯一の癒しだ

おかえりなさい
サイゾウさん

親父が帰るまでは

ああ
変わりなかったか？
ミサコ

はい

そして
すぐに現実を
思い知らされる

なんだ今日も
随分と乱れるなあ
ミサコ♡

親父に抱かれて
獣のような声で喘ぐ
ミサコさん

ミサコ♡

私の選んだ女が
この程度で
根を上げるとは
情けないぞ

今夜も
容赦はせんぞ
ミサコお♡

くそっミサコお♡

愛しとるぞ
ミサコ♡

私も♡
好きっ♡

サイゾウさんっ♡

彼女の姿を
想像し自慰行為に
励むしかなかった...

まってっ♡
サイゾウさんっ♡

劣等な俺は
意中の人
愛することすら
許されないのか…

お帰りなさい
アキヒトさん

今
お茶を入れますね

親父は毎晩
この身体を好きに

大丈夫ですか？

顔色が
悪いみたいだわ

たぶん

欲望が日に日に
増大していく

すみません…
夕食まで
部屋にいます…

え…ええ…

毎日あんな身体
見せつけやがってっ

これじゃあ
生殺しだっ

最近では録音した
ミサコさんの
喘ぎ声をおかずに

オナニーをするのが
日課になってしまった



アキヒトさん
大丈夫ですか？

もし辛かったら
お薬でも…

すみません…

ノックは
したんですが…

そしたら
アキヒトさんの
苦しそうな
声が聞こえてきて…

最悪なところを
見られた…

もう死にたい……

私でよろしければ…

お詫びに少しだけ
お手伝い
させていただきます…

っ！？

あの…
アキヒトさん…

はっはいっ

この状況は
なんだ…？

大丈夫…？
痛くない…
かしら…？

そんな疑問は
すぐに快楽で
吹き飛んだ

長くて太くて
形も凄いわ…

は…はい…

すっごく
立派…

細くて長くて
柔らかい繊細な指

背中に感じる
柔らかい感触

いつでも
いいですからね
アキヒトさん

甘くて
クラクラする体臭

耳元で感じる吐息…

いつも親父にも
しているのか
ミサコさんは手慣れた
手付きで締め上げていく

あっ♡
ミサコさん
あっ♡

くそ
こんな時でさえ
親父の影を感じなければ
いけないのか…



あ…凄い…

濃くて匂いも…

それにしても
なんて量…



こんな気持ちいい
射精初めてだった…

今までで一番出た…
と思う…

きゃっ!?

この時から
俺のブレイキは
音を立てて壊れた



わかりました…

ホントに
今日だけ…
ですからね…



お願いしますっ

え…?
あの…でも…



やだ…
この子
私の匂いを…

身体柔らかくて
あったかい…♡

良い匂いだ…
これがミサコさんの
匂いか…♡

アキヒトさん…
そろそろ…



柔らかああ♡

それに重っ♡

おっぱい
触りたいなんて…
仕方ないわよね
年頃の
男の子だし…



わかりました…

でも…
少しだけ…
ですよ…

えっっ!!

はっ
ん
ん

どうしてかしら…
この子に
お願いされると…

拒めない…



後日

えっ!!
おっぱいを
吸いたいって!!

欲望は
解消されるどころか
エスカレートしていく



流石に
怒られる…
かな…?

やだ…
乳首が…

初めて見る
女性の生おっぱい…

凄い迫力…♡

んんん

恥ずかしい
ですから
はやく…

あん…
見られてる…

まじまじと…

生の感触…
全然違う…

手に
吸い付いてくる…

乳首が隠れてる…
陥没乳首つて
奴か…

陥没乳首って事は
中に隠れて
いるのか？

中の乳首…
大きくなってきた

歯は立てちゃ…
ダメですよ…

あ…♥
舌使い…
この子上手…♥

よし先っぽが
出て来た

やだっこれっ
乳首だけでっ♥

これを
吸い伸ばしてっ

あっ♥
まって♥
アキヒトさんっ♥

だめっ♥
イツちやつっ♥
♥♥♥

だめっ♥
アキヒトさあん♥

ミサコさんは
弓形に仰け反った
かと思えば

そのまま
腰から崩れ落ちた

おっばいだけで
イカされちゃった♡

こんなの初めて…

満足しましたね？
アキヒトさん…

私…お夕飯の
用意致しますので

こんなの見せられて

ひゃっ
アキヒトさんっ!?

欲望が抑えられる
わけがない…

アキヒトさん？
何をするんですか？

この女が欲しい

これを
ほどいて下さい…

うるさい…

きやつ！？

アキヒトさんっ！？



嘘を付くん
じゃないっ

そんな
つもりじゃっ



ほら
逃げるなっ♡



ひよんなこと…

いやって言いながら
舌を絡めてくる
スケベな口だな♡

甘い♡
微かに紅茶の香り

キス…上手…♡



散々俺を
誘惑しておいて
今更なんだよ？





だめだもう
欲望を抑えられない…

アキヒトさんっ!?

なにを
する気ですかっ!?

まっ待って!!
だめっ!!

入れちゃ
だめえええ!!

この女が欲しい—



俺…してる…♡

夢にまで見た
ミサゴさんと♡



私…しちゃってる…

義理でも
親子なのに
アキヒトさんと

SEX JUNKIE ♡

すっごい締まる
気持ちいい♡

だめ♡♡
この子凄いつ♡♡

アキヒトさっ
動いちゃダメっ♡

お願いですから
これ以上はっ♡

こんなの知ったら
オナニーなんて
戻れないっ♡

うるさい口だな
塞いでやる♡

もつと味わいたい
この感触をっ♡

凄いセックスって
こんなに凄いのかっ





アキヒトさんっ♡
ダメっ♡

今動いちや
ダメですううう♡

足りない
こんなんじゃないっ♡
全然足りないっ♡

もっとイかせたい♡
イけ♡
もっとイけ♡

親父以上に
イかせてやるっ♡

ずっと俺を
誘ってたんだろ？

このスケベ女っ♡

またビクビク
してる♡

股が熱いぞ
何か漏らしてるのか？

またイったな♡
でも——

ああ…またお潮
出ちゃってる…♡

親父の時は
こんなんじや
なかったぞ♡

もっと鳴けっ♡
下品な声で喘げっ♡

ダメ…
このままじゃ私…
この子に——♡

いのち

あはれ

あはれ

あはれ

支配され
ちやうど♡♡



どうですか？
ミサコさん♥
俺の精子

親父と比べて

あ…♥
ずっしりと重くて…♥

熱くて量も
凄いです…♥

親父よりも？

……はい……



じゃあ
もう一回
お願いします♡

ひやつつ!?

今…
出したのよ…
ね…???

ほら早く♡

嘘…さつきよりも
大きて…硬い…

ミサコ♡

どうだっ!!
ミサコ♡

凄いだろっ!!
僕は♡





まだ出る♡



ミサコ
もう一回♡

もう一回するぞ♡

まって…♡
アキヒトさん…♡

何度すれば
満足して貰えるの…♡

このままじゃ…私…

このエロ女♥

アキヒトさんっ
 凄いつ♡

ひいひい♡
ゆるしてええ♡

ドンドン
うまくなるっ♡

はは♥
こんなに出せるなんて
自分でも驚いてるよ♥

ミサコも
随分嬉しそうに
鳴いてたな♥

童貞に
イカされまくって
気持ち良かったか？
ミサコ♥

はひい…♥
凄かったですう…♥

明日も明後日も
その次の日も
ずっと♥

またするからな
ミサコ♥

若い子って…
こんなに凄いのね…♥

はひい…♥
わかりましたあ…♥

この女は
俺の物だ

その日以来
僕の日常は
大きく変わった

お♡
言い付け通りだな

朝は
目覚ましフェラ

偉いぞミサコ♡

おふあよう
ごらいふあふ…♡

アキふイト
ふああん♡

朝からこんなに
凄いのね…♡

時間に
余裕があれば
トイレで性処理
をさせる

そんなこと言って
マンコぐちよぐちよ
じゃないか♡

フェラで
発情してたな
このスケベババア♡

アキヒトさん♡
遅刻っ♡
しちやうますっ♡



あゝ♥
スツキリした♥

帰ったら
こんなもんじゃ
ないからな♥

マンコ
ぐちゅぐちゅにして
待ってろよ♥

こんな
清々しい朝は
いつ以来だろうか



この極上の身体に
むしゃぶりつく
学校で
ミサコの事だけ
考えてた♥

このドスケベな
身体の事♥

お茶…
入れるますから…
少し落ち着いて…

帰ったら
滅茶苦茶にするって
言っただろ♥

覚悟しろよ♥

初めは
抵抗していても
強引に求めれば

だ…だめよ…

すぐに
言いなりになる



そして
家に帰るやすぐに

あ…
アキヒトさん…♥

あんなに
くすんでいた
僕の人生が

嘘のように
彩り始める





いつ言いますっ♡

白状しますっ♡

イジメてほしくて
誘ってましたあ♡

お♡
イッた♡

お望み通り
たっぷり
イジメてやるよ♡

特にこの
下っ品な乳首を
徹底的にな♡

嬉しいだろ？
ミサコ♡

私は完全に
アキヒロさんの
言いなりです

はひい…♡
うれい…♡
れすう…♡



アッ
アキヒトさんっ♡

乳首はっ♡

すっげえ
締まるっ♡

乳首は
もうダメえっ♡

弱点の子宮回を
責めながら
乳首を集中攻撃♡

出るっっ♡

泣きながら
懇願されても
絶対に許さない♡

徹底した
乳首責めに

この日俺は
初めてミサコを
失神まで追い込んだ

あれ？
トンじやった？
まあ容赦しないけど♥

だが
その程度で
許したりはしない

ほら♥ミサコ♥
存分にイって
いいぞ♥

親父が帰る
ギリギリまで弄ぶ

おかえりなさい…

サイゾウさん…

ああ
変わりないか？
ミサコ

はい…

当然俺に抱かれて
ガックガクの身体で
親父を出迎えさせる

やだ…♥
乳首の勃起が
治まらない…♥

その光景に
俺の欲望は更に増幅する





